

## 大会宣言(案)

陸運業は、国内貨物輸送量の九割以上を担い、物流の中核として我が国の経済活動と国民生活を支える不可欠の存在である。

陸運業における労働災害を防止するため、平成十五年度に「陸上貨物運送事業労働災害防止計画」を策定し、平成十九年度までの計画期間中に、労働災害死亡者数が年間二百人を下回ることを目指すとともに、労働災害総件数を二十パーセント以上減少させることを目標として、鋭意取り組んでいるところである。

本年度はその中間年に当たるが、本年の労働災害の発生状況を見ると、目標の達成にはなお一層の取組が必要である。

燃料価格の高騰をはじめ、陸運業界は厳しい経営環境に置かれているが、会員事業者は、人命尊重の理念の下に、過労運転等による交通労働災害をはじめ、すべての労働災害の絶滅に向け、労働災害防止活動に積極的に取り組むとともに、従業員の健康の確保・増進を図ることにより、健康で安心して働くことができる快適な職場環境を実現し、企業並びに業界の発展に寄与するものとする。

このため、次の五項目を重点に、労働災害の絶滅を目指し、より一層努力することをここに誓う。

- 一 経営首脳が先頭に立った安全衛生活動の積極的な推進
  - 一 総合的な交通労働災害防止対策の推進
  - 一 荷役運搬作業の安全化の確立
  - 一 充実した安全衛生教育の推進
  - 一 健康確保対策・快適な職場環境づくりの推進
- 右、宣言する。

平成十七年十一月十五日

第四十一回全国陸運労災防止大会